

令和3年度

西小だより

9月28日号

瑞穂市立西小学校

9月が終わります

8月末にまん延防止措置から緊急事態宣言の指定による分散登校や下校時刻の繰り上げでスタートした西小学校の9月でした。急な変更によって、保護者の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしたことだと思います。ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

9月末になり、新型コロナウイルス感染症の拡大が縮小傾向に向かっているものの、再びの感染爆発の恐れは解消していません。一日も早く収束してくれることを願っていますが、油断はできません。感染の低年齢化も多くみられるので、気を引き締めて感染症対策を進めていきますのでご協力をお願いいたします。

あゆみを続ける西小 学習や日常の取り組みの成果が出てきています

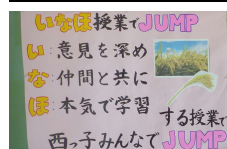
(その1) 分散登校やリモート朝の会の試行

新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、夏休み明けの体調管理と健康観察のために分散登校を実施しました。その一方で、学校のICT環境の整備が進む中でリモート授業を視野に入れたタブレット活用を行っています。その手始めに、朝の会をリモートで行う試みを実施しました。校舎内はWi-Fi環境が整っているので、6年生が教室と各階の特別教室や児童玄関などを結んで朝の会に挑戦しました。



(その2) 児童会の呼びかけで学習のレベルアップに全校が取り組んでいます

6月には「あじさいあいさつ」の取り組みで、元気なあいさつが飛び交う西小学校になりました。秋になり、田んぼの稲も実ってきて稲穂が垂れるほどになってきています。この稲穂のように西っ子の学習がもっとよくなって皆が力をつけるように、「いなほ授業でJUMP」と名付けて全校で自分の意見を出しながら仲間と共に学びあって真剣に学習する授業を目指しています。



(その3) 5年生が「ぼうさい学習」の出前講座で学びました

豪雨被害や水害について学んできた5年生が、岐阜大学防災・減災センターの村岡先生を講師に招いて、「今、この瞬間に大地震が起きたらどうなるか、何ができるのか」を学びました。これまでに「お・は・し・も（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」を合言葉に地震に備えた命を守る訓練をしてきました。しかし、東北震災並みの震度7が起きたなら部屋中の家具が凶器となって命が危ない、ただ机の下にもぐったりだんごむしポーズをとったりするだけでは命が守れないということを学びました。「もしも」の時に備えて、身の回りの危険を見つけてどうしたらよいかを見つけるメガネを手に入れることができたので、校内や家庭で生かしてくれることだと思います。



お世話になり、ありがとうございます 西小を支えていただく皆様

西小学校はいろいろな方々にいろいろな場面で支えていただいています。PTA活動はもとより、登校時の検温確認や通学路の安全指導、校地内の樹木の刈り込み、川沿いの草の始末など西小学校のために様々なお力添えをいただいています。

また、学校運営協議会からの回覧をご覧いただいた方から、「草刈りボランティア」に参加したいというお電話もいただいております。ありがたいことです。だからこそ、西っ子の皆さんの感謝の心が育ってきているのでしょう。